

令和 4 年

第 4 回教育委員会会議録

(開会 令和 4 年 3 月 28 日)

(閉会 令和 4 年 3 月 28 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和 4 年 3 月 28 日 午前 9 時 00 分開会

会場：市役所 4 階第 1 会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

小栗照代君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

説明のために出席した者

渡辺勝彦君（事務局長）

今井竜生君（学校教育課長）

千葉智治君（教育研究所主任指導主事）

梅田浩二君（こども課長）

石原雅行君（教育総務課長）

上北泰久君（学校教育課主任指導主事）

小川隆行君（学校教育課指導主事）

出席委員会事務局職員

木村彰伯君（教育総務課総務係長）

小池拓哉君（教育総務課総務係）

中水麻以君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回、前々回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①報告第 2 号 可児市いじめの重大事態調査について （原案承認）

②議案第 9 号 可児市いじめ防止基本方針の改定について （原案可決）

③議案第 10 号 可児市学校運営協議会規則の制定について （原案可決）

6 報告事項

①令和 4 年度のキッズクラブ入室申請状況について

7 各課所管事項

8 委員からの提案協議事項

9 その他

10 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） おはようございます。

令和 4 年第 4 回の教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということでよろしく願いをいたします。

前回、前々回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） 前回、前々回会議録の承認について。
- 教育総務課長（石原雅行君） 前回、前々回ともに変更はありません。
- 教育長（堀部好彦君） 前回、前々回ともに変更なしということでよろしく願いをいたします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） では、教育長報告ですが、5 点お願いをします。

1 点目ですが、議会 3 月定例会一般質問が終わりまして、また報告があるかと思えますけれども、不登校についての質問をいただきました。不登校児童・生徒が増えている中、学習保障だとか、居場所づくりについてどう考えているのかという現状も含めた考えを問われました。それについては的確に十分やっておりますので、I C Tを活用した学習保障、オンライン等ですね。また、スマイリングルームのさらなる充実といったところでいろんな取組を紹介させていただきました。そこでもう一つ、私として質問はされていないんだけどもということで話をしたのは、未然防止のことです。不登校の未然防止に努めていきたい。そのために、笑顔のもとを育むということを今頑張っているんだよということをお伝えさせていただきました。御承知おきください。

2 点目ですが、卒業式、皆さんも参列いただきましてありがとうございました。いろいろ感じておられることはあるんじゃないかなと思いますけれども、小学校、中学校ともに、コロナ禍にくじけず、制限された中でもいろんな工夫をしながら、子供たちや保護者への心からの祝福ということで、いろんな取組があったんじゃないかなと思っています。またその辺り、報告いただけるとありがたいなと思っています。これが 2 点目です。

3 点目ですが、教職員の人事異動につきまして、学校教育課課長、主任指導主事中心に、本当に丁寧に可児市の教諭・常勤講師・非常勤講師の人事をやり切っていただいております。まだ現在進行形で、ちょっと学級数の変動等もあると聞いております。そうすると、また人事配置等が変わってきますので、これは本当に最後の最後まで、教育委員会の学校教育課で、本当によくやっていただいております。

そんな中で、今年は昨年にも増して欠員が多いです。3 年ぐらい前に比べて、可茂地区において欠員が倍増しております。定数に加えてこんな加配がきますよということ、予算としては認めていただいたんだけど、人がつきませんという状況が、可児市もそのあおりを受けております。例えば可児市において 500 人、600 人規模の小学校で、フリーの先生が教務主任 1 人しかいないという状況を聞きました。考えられないですよ

ね。私の感覚からすると、いろんな加配が増えている中で2人は、500人、600人だったら3人かな。教務主任入れれば3人ぐらいはフリーがおるイメージがあるんですけど、1人ですから、いかに厳しい状況かということですね。これも御承知おきいただけるとありがたいです。これが3点目です。

4点目ですが、学校のコロナ感染状況でございます。春休みに入りまして、学級閉鎖等の措置というのは当然ないわけですがけれども、新聞等でも皆さん御承知おきのよう、何かまたちょっと増えつつあるような状況です。入学式までの状況を踏まえながら、また注意喚起をメール等で保護者には啓発をしていかないかなあと思っております。

入学式においては、延期をすとか、中止をするということは全くありませんので、欠席する児童・生徒は当然出てくるかと思うんですけども、予定どおり開催ということで、感染防止の水際対策を本当に保護者に御理解いただきながら、式は実施していくという予定でございます。これが4点目です。

最後5点目ですが、机上に「館長のおしゃべりシアター」のこの黄色のチラシと、それからもう一つ、「アーラの理念と教育委員会の理念が新たなまちをつくる」というこの白黒のプリント、これは私がつくったものなんですけれども、これを御覧ください。

御理解いただいて、この会に教育委員さんも参加していただけるとうれしいなあなんということを思っております。実はa l aとの連携ということで、先ほども申し上げた不登校の未然防止、笑顔のもとということで、a l aとの連携も今進めていきたいなあということを思っています。このおしゃべりシアターにつきましては、不登校の未然防止ということに特化した話ということではなくて、a l aという劇場がまちづくりに何ができるかということについて、中貝さんという方をお迎えして、3人でいろいろ話をしようというようなことです。

このことで、実は校長先生方にも紹介をして、ぜひ参加してくださいということをお願いしようかと思っております。理由は2つで、1つは、a l aとの連携を進めていこうとする可児市、教育委員会、学校、校長会、連携していきたいんですけども、a l aがどんな理念を持って何をやろうとしていらっしゃるのかということを理解していくことが大切だろうと。連携連携と言いながらも、a l aを詳しく理解していなければいけないので、その理解の一助となるのではないかなあという理由が1つ。

2つ目は、劇場がまちづくりにどんなことができるだろうかというテーマでお話が進むと思われるんですけども、これは学校がまちづくりに、つまり地域の人を巻き込んで、子供たちの育成に何ができるんだろうかということと、考え方ややり方がもしかしたら学べるところがあるのではないかということで、校長先生方にお話を向けようと思っています。コミュニティ・スクールとの兼ね合いもあるかなということも思っています。という宣伝でございます。もしお時間ありましたら、平日の遅くからなんですけれども、来ていただくと大変ありがたいです。

以上です。ありがとうございました。

教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、教育委員報告ということでよろしくお願いをします。

○ **教育委員（丹羽千明君）** おはようございます。

前回の教育委員会会議以降の御報告をさせていただきます。

まず蘇南中学校と、私は今渡北小学校の卒業式に参加させていただきました。中学校では、コロナの陽性者が一人でも出たら1週間延ばしますということでしたけれども、蘇南中学校の場合は自宅待機が1名ということで、今渡北小学校も自宅待機が1名ということで、開催されました。その1名ずつの方にも、リモートということで、自宅に参加という形でフォローしていただいておりますので、大変よかったかなあと思いました。すごく厳粛に行われまして、来賓なしで、保護者は代表の1名、あと在校生はなしということでしたけれども、しっかり開催できたことは本当によかったなあと思いました。

それから、小規模特認校の視察ということで、三和小学校へ前回行かせていただいたのですが、そこを応援している飲食店がすぐ近くにありまして、そこにちょっと食べに行かせていただいております。そこにもお子さんが見えて、すごい応援したいという気持ちが伝わりましたし、本来1名のものであったが、特認校制度を利用することで3名になったということで、本当は7、8人入ってが一番いいかもしれませんが、それで喜んでみえたので、ちょっと報告をさせていただきます。ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** それは本当に生の声を聞いていただいたということで、ありがとうございます。

○ **教育委員（小栗照代君）** おはようございます。

3月14日なんですが、こども発達支援センターくれよんの運営委員会がありまして、出席させていただきました。いろいろな現状のお話や御報告を頂戴したんですけれども、その中でまず1つですけど、未就園児の子供さんが、今まで開始時間が始まってから隣のめぐみ保育園にちょっとお邪魔して、慣れるというようなことをしてくださっていただいんですけれども、来年度からは、くれよんの運営の始まる前にめぐみ保育園にお邪魔をして、実際にくれよんの運営の時間が欠けないように変更させていただきますというようなことでおっしゃってくださいました。このようにいろいろと改善をしながら、子供たちのことを考えて、きちんと運営してくださっているなということを感じて帰ってまいりました。

続いて、卒業証書授与式ですが、私は東可児中学校と桜ヶ丘小学校に参列させていただきました。東可児中学校は、コロナ禍ということで、1人ずつ呼ばれるんですが、返事はもちろんなしということで、代表者の方が校長先生から証書を受け取るということでございました。そして、厳粛に粛々に行われておりました。

桜ヶ丘小学校は、去年は返事がなかったと思うんですけれども、今年は1人ずつ呼ばれて、返事を子供たちにしていて、そして校長先生から1人ずつ証書を受け取っているということです。そして、卒業生の掛け合いの言葉というのが恒例というイメージが小学校であるんですが、去年はたしかこれはなかったんですけど、今年も行われて、子供たちの声を実際、歌とかはないんですけれども、そういった声を聞くことができ、子供たちが元気に6年間生活して、そして中学校に旅立っていくんだなということで、私自身じーんとしながら拝見させていただくことができました。

その後の学活ですけれども、保護者は教室に入らないようにして、オンラインでほかの部屋から拝見するというようなことをするとおっしゃっていらっしゃいました。ですから、各学校で校長先生はじめ先生方が、コロナに対していろいろと対策をしながら、子供たちに最大限できることを最後にやってあげたいというようなお気持ちをすごくひしひしと感じて帰ってまいりました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。幼保小の連携という視点から、くれよんのやっておられることを、今のような形でいろいろ報告をいただけると大変ありがたいなあというふうに思います。

来年度は新たな指定事業をいただきまして、またどこかで報告があるかと思うんですけれども、東明小学校と東明小学校区の幼稚園・保育園との連携で、子供たちの笑顔のもとを育む取組を進めていくことになりましたので、ここでそういった幼保小の連携についても、今後また話題になるといいかなということも思っております。よろしくお願いします。

- **教育委員（長井知子君）** おはようございます。よろしくお願いします。

私は、中部中学校と旭小学校の卒業式に行かせていただきました。どちらの学校も、コロナにかかって欠席という児童・生徒はいなかったもので、校長先生方もすごくほっとされていました。そして、小栗委員も言われたように、保護者の皆さんは子供たちの教室にやっぱり入らないということで、別の教室で待機していただいて、それをオンラインでつなぐという形を取られていました。さらに旭小学校では、他学年の保護者向けにネットで配信という形も取られていたので、すごいなあと思いました。

すごく印象に残っているのは、旭小学校の舘林先生が、お祝いの言葉の中で、これからマイナスのことが起きるかもしれないけれども、見方によってはそれがプラスになるということ进行をすごく分かりやすく子供たちに話していたので、子供たちの心にきつと届いたんじゃないかなあと感じました。

あと、旭小学校でコミュニティ・スクールについてお聞きしたら、すごく校長先生が楽しい雰囲気なこともあり、教頭先生と連携もよく取られていて、先生方も一丸となって裏山の有効活用だとか、そういったのを積極的にしていこうというのを皆さんでされているということを伺いました。旭小学校の雰囲気が、やっぱりすごく連携が取れているのもあり、すばらしいなあと感じました。校長先生は、先生方に、先生たちはどうしたいのというのを投げかけて、向き合われて、ぽんぽんと出てくる言葉を、すごく丁寧に校長先生が拾い上げて接しているなあというのを感じました。また、コミュニティ・スクールは先生方の一体感とかも育まれて、いいなあと思いました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。コミュニティ・スクールについては、旭小学校は本当に前向きに捉えてやろうとしてくださっております。校長先生方に、旭小学校の活動や考え方を紹介しながら、それぞれの学校で特色ある教育活動が展開されるようにということを願って、4月からその働きかけをしていきたいなあと思っています。また報告をしたいと思います。ありがとうございます。

- **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしくお願いいたします。

私は、広陵中学校と帷子小学校の卒業式に出席させていただきました。両方ともコロナに感染というのはなくて、広陵中学校なんですけれども、こちらのほうは、マスクを

取った状態で、返事はなしで1人ずつ卒業証書を受け取って、受け取った後に下りてくるところからちょっと数秒立って、多分保護者に顔を見せるみたいな形で、席に着いたらまたマスクをするというふうで、1人ずつ証書を受け取っていました。

最終的に、学級解散は、クラスが少ないということもありますけれども、格技室だったりとか、ワークスペースに分かれて、保護者も一緒に広いところで参加したということで、見には行っていませんけれども、説明がありました。本来なら、コロナ禍ということなので、合唱とかそういうのは駄目なんですけれども、7月にシンガーソングライターの仲里さんという方——「HE I WAの鐘」をつくった方なんですけれども——との交流がありまして、生徒会が募集した歌詞を作曲してもらって、それが3月に出来上がったので、やっぱり子供たちはぜひ歌いたいということで、校長先生が条件付で、コロナとかが感染がなければ当日歌おうということで、結局マスクをつけた状態で発表、合唱がありまして、聴かせていただきました。ここ何年間かは曲を聴くことがなかったもので、やっぱり音楽っていいなあというのをつくづく感じて出席させていただきました。

帷子小学校のほうは、マスクをした状態で一人一人返事があって、こちらにも卒業証書は一人一人受け取りがありました。こちらのほうも合唱ではないんですけど、こちらは去年もそうだったんですけど、各クラスそれぞれなんですけど、リコーダーを使って演奏して終わるという形で、こちらにも曲が流れて、寂しかったのがちょっと華やかな感じの卒業式でよかったなというのを感じています。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。卒業式については、小学校、中学校ともそれぞれいろんな工夫があるなあということで、きっと校長先生方の中でそういった工夫は共有されて、いろんな行事や次の卒業式に生かしていくことになるんじゃないかなあということは思いました。お疲れさまでした。ありがとうございます。

議事

- **教育長（堀部好彦君）** では、次、議事に入ります。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** では、議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおり、本日は報告が1件、議案が2件です。

報告第2号 可児市いじめの重大事態調査について、議案第9号 可児市いじめ防止基本方針の改定について、議案第10号 可児市学校運営協議会規則の制定について、以上3件についてよろしくお願いします。

- **教育長（堀部好彦君）** 報告第2号 可児市いじめの重大事態調査について、その関連による議案第9号 可児市いじめ防止基本方針の改定について、その他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については非公開といたします。

なお、議案第9号 可児市いじめ防止基本方針の改定についての議事は、いじめの重

大事態調査報告の関連により非公開とするものであり、議事録自体は可児市のウェブページに公開したいと考えておりますので、御了解ください。

それでは、議案第10号 可児市学校運営協議会規則の制定についてを議題といたします。

○ 学校教育課長（今井竜生君） お願いします。

議案書の3ページを御覧ください。

議案第10号 可児市学校運営協議会規則の制定について。

可児市学校運営協議会規則を次のとおり制定する。令和4年3月28日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記1. 制定理由、学校運営の改善及び児童・生徒の健全育成に資することを目的として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、学校ごとに学校運営協議会を設置することに伴い、制定するもの。

2. 制定内容、第3条から第9条に組織、委員の任期、服務、会議等。第10条、第11条に協議会による学校運営に関する基本的な方針の承認、協議会の権限等。第12条、第13条に教育委員会による指導及び助言、適正な運営確保に関する措置。附則として、可児市立小中学校管理規則の一部改正を載せています。

3. 施行日、令和4年4月1日より。

4. 制定文は以下のとおりになっておりまして、4ページ、5ページ、6ページ、7ページに規則の内容が載っております。

少し説明をさせていただきます。

1月の教育委員会会議で、上北主任指導主事より説明した学校運営協議会に関わる規則を制定し、令和4年度より学校運営協議会を設置できるようにするものです。令和4年度は、この規則に基づいて、旭小学校と広陵中学校での設置を進めていきます。協議会では、学校の基本的な方針を示し、承認を得ることになります。学校教育目標や運営方針などについて説明をして、願いを共有して、地域の方と一緒に取り組んでいく仕組みをつくっていきます。今後、2校の取組や状況を共有し、可児市全体でもコミュニティ・スクールの動きを広げていけたらよいと考えています。

別紙ですけれども、一枚プリントがありますので、御覧ください。

このプリントになります。一番上に、教育委員会会議各課所管事項資料【学校教育課】と書かれております。

可児市のコミュニティ・スクールについてということで、今概要をお知らせさせていただきましたが、もう少し詳しく今後の流れ、それからこれまでの動きについてお話をさせていただきますと、一番上のところになります。

コミュニティ・スクール立ち上げに至る経緯ということで、左からまず県の動き、国・県の動きがありまして可茂地区の広がりも出てきています。それから可児市へも働きかけがありまして、研修会等も行い、意識を高めているところであります。

令和2年2月に議会答弁がありまして、前教育長の籠橋教育長がお話しされた中に、地域基盤があって進めるものである。地域の意識が熟成していった後に進めていきたいと考えているということの話をしています。地域の協力があって、地域・学校の思いを受けて、これは進めていくものであるということを議会答弁で述べました。

それを受けまして、令和3年度ですけれども、旭小学校の校長より、これを立ち上げていきたいという要望がありました。それから、エール広陵の動きを見ていて、この動きについてはもう地域基盤があると考えて、この2校については機が熟したなあと捉えております。

来年度ですけれども、可児市40周年ということもありまして、10年後の未来の笑顔を育もうという願いから、やっぱり地域と学校の思いが同じになって、笑顔のもとを進めていこう、育てていこうということがありますので、その流れに沿ってコミュニティ・スクールも動いていけたらなあというふうに考えております。

下の青い箱の中ですけれども、教育委員会としては、コミュニティ・スクールを進めるために校長会での説明、それから自治連合会での説明・周知、それから、4月になってから校長会で実際の動きや思いについて、旭小の校長からのお話であったりとか、それから規則、詳細についても説明させていただく予定です。それから5月・6月には、可茂教育事務所の担当の先生が見えますので、その人からの研修会を受けながら、各校の動きにつなげていけたらなあと考えています。

具体的な学校としては、先ほど長井委員さんからも旭小学校の動きについてお話をいただきましたが、旭小学校は、意識を高めながらコミュニティ・スクールへ向かう機運が高まっているところであります。それから、広陵中学校も実際のエール広陵の会議を通じて、次はこういうコミュニティ・スクールになっていくんだよというお話をさせていただいておりますので、それを立ち上げる材料にしまして、令和4年度はコミュニティ・スクールが実際動き出しをしていきます。そこで、その情報を各学校にもお伝えいただいて、この動きがどんなふうに生かされていくかということを各学校も取り入れながら進めていけたらなあと考えています。

今のところ、そんなような流れで、令和4年度に向けての動きをつくっているところです。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 今、詳細等説明をいただきましたが、御意見、御質問等ございますでしょうか。

○ **教育委員（丹羽千明君）** コミュニティ・スクールにしていくということと、また地域がより関わっていくというもの、理念もそのとおりだと思いますので、進めていくべきだとは思いますが。

ただ、今エール広陵の方から、またちょっと私のほうに連絡がありまして、ちょっと教育委員会と話合いが足りないんじゃないかとか、説明、急ぐところがあるように見受けられましたので、実際にそういうやられている方たちとの話合いとか、場を持ってやってみえますでしょうか。

例えば、私たちはコミュニティ・スクールじゃなくて学校支援というふうにやられていると言われていました。また1人5,000円というのは、使い道についてちょっと質問をいただいたので、運営費じゃなくて1人5,000円というのは、ためて、また会に寄附しようかみたいな話も、それだとちょっとおかしい話になってくるので、その件についても事務局とエール広陵の事務局の方との話合いというのはされているでしょうか。

○ **学校教育課長（今井竜生君）** 広陵中学校のほうについては、実際にそういう動きは多分まだしていないと思いますので、御説明はやっぱりしていかななくちゃいけない

ですし、制度についても、今規則がここに定まってきていますので、それを示しながら、どういう流れで動いていくかとか、お金のことについてもやっぱり説明をしないといけないと、今御意見をいただきまして思いました。

旭小学校については、まだ動き自体ができていなかったものですから、令和3年度の12月の学校評議員会で、コミュニティ・スクールについての情報共有というか、講話をしていただいて、コミュニティ・スクールとはこういうものである、こういう流れになりますということは、評議員会の中でお話をさせていただいておりますけれども、広陵中学校についても動きがあるので、そのままいけばいいわというようなところもあったと思うんですけど、今おっしゃってくださったような、やっぱり細かいところで詰める必要があると思いますので、御意見いただきましたので、早急に年度初めにはその動きをつくっていかうと思っております。ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** 校長も替わりますので、今の御指摘を受けて早急に動きをお願いします。

それから、今、丹羽委員が言われたことで思ったんですけれども、エール広陵の方が、自分たちが今学校を支援していく立場というか、考え云々という話をしておられたんですけれども、コミュニティ・スクールは支援ではないですよ。今後、次のエール広陵がさらに高まるということを考えたときに、前回、総合教育会議でも何回も私は市長と話をさせてもらったところで、繰り返しになるんですけれども、どんな笑顔のもとを育むのか、どんな力、どんな心情を育てるのかということですね。これを本当に地域、エール広陵の方と学校が同じ考えを持って、そのためにそれぞれができることをやっていきましょうよ、または協力してやっていきましょうよということなので、何かお手伝いください、いいですよ、これをやってください、あれをやってください、いいですよ、助かります、ありがとうございますの関係からランクアップということです。同志です。こういう子供を育てたい、だから私はこんなことを考えて、こんなことをやりたいんだということをエール広陵の方に言っていたきたい。十分にその素地はあると思います。

人権教育の公表会で、エール広陵代表の小野口さんがお話を生徒たちにしてくださいました。感動して伺ったんですが、小野口さんのスタンスは、学校があれをやってください、これをやってくださると助かりますのお手伝いをしていますのスタンスではなかった。子供たちが、この集会で、この人権の取組で頑張ってきたことが将来のあなたたちに絶対に役に立つから、今日のことを忘れないでねというスタンスで話をしておられたと記憶しています。代表の小野口さんは、もうコミュニティ・スクールの考えと同じスタンスで、学校と私たちが一緒になって子供をこんなふうにしていきたいと考えておられるのではないかなあと思っていますので、そういったエール広陵との一連の相談というか、打合せというのが、今のようなことも踏まえてやっていただけるとありがたいなあと思います。今井課長、今の丹羽委員の気持ちとともに、私の今申し上げたことも伝えながら進めていってください。よろしくお願いします。

ほか、よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございました。

では、異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

各課所管事項

○ **教育長（堀部好彦君）** 各課所管事項を先に行います。

○ **事務局長（渡辺勝彦君）** それではお願いします。

3月議会の結果についてお話しします。

教育委員会からの議案はございませんでしたので、特に議案についてはございません。

予算について、令和4年度当初予算については、原案どおり可決ということになりましたので、よろしく願いいたします。

それから、一般質問のほうは、先ほど教育長からも触れていただきましたが、松尾議員からコロナ禍についての不登校対策について御質問がありました。委員の方も御承知のとおりですが、不登校児童・生徒の数は年々増加をしております。そういったところも捉えての御質問でした。教育委員会からは、教育長から、現在実施しているスマイリングルームをはじめとした各学校の不登校への取組について丁寧に説明をさせていただきました。

加えて、今後スクールカウンセラーが監修して作成する、『よりよい認知を育む心理教育プログラム』というのがあるんですが、そういった研修を通して、どの教職員も心理的側面からそういったお子さんの支援ができるように努めていくというような答弁も加えております。この問題につきましては、市長との協議の場である総合教育会議でも議題として取上げさせていただいておりますが、引き続き検討が必要な課題だと認識しておりますので、またどうぞよろしくお願いいたします。

それから、教育福祉委員会の報告につきましては、3月16日に会議が開催されましたが、先ほど学校教育課長から説明したコミュニティ・スクールについてと、それから昨年度から引き続き取り組んでおります中学生期のスポーツ・文化活動、先日も文化スポーツ課から御説明させていただきましたが、その状況について報告をさせていただいております。

コロナウイルス関係につきましては、これで2年以上闘いというか取り組んでおりますが、特にオミクロン株の発生は、この第6波の勢いというのは大変すさまじくて、昨年は陽性者が30名ほどだったと思いますが、今年はこれまでに500人を超える感染者が出ています。そのうちの440人ほどはこの第6波、1月－3月に出没しているということで、いかにこの第6波が非常に多くの陽性者が出たかということが分かります。学校のほうでも、こうした対応が非常に大変でした。第6波までは学校での御努力により、学校内のクラスターはありませんでしたが、さすがに第6波の状況の中では、何校かでクラスターが発生したという状況になっております。

今後、取りあえずまん延防止は収まりましたが、また学校も春休みに入っておりますが、来年度に向けて、また引き続き気を引き締めていく必要があると考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育総務課長（石原雅行君）** 私からは、令和3年度3月末の完了予定の施設整備について報告させていただきます。

先月も報告をさせていただきましたが、蘇南中学校の大規模改造工事については、この3月末で完了ということで既に終わっております。

あと、12月の補正予算のことで説明をさせていただきました今渡南小学校の職員室の増築工事と、あと今渡北小学校の職員室の拡張工事については、こちらも2つとも完了しております。また新年度に、学校訪問の際には確認をしていただければありがたいと思っております。

お手元の資料の確認をさせていただきたいと思います。

教育委員会名簿ということで、令和4年4月1日現在というものをお配りさせていただいております。4月から充て職のほうがまた替わるということで、このような形をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

もう一つカラーになっています令和4年度充て職というふうで、順番になっています。その順番で充て職が替わっていきますので、その順番でお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、令和4年度教育委員行事・会議予定表というのを配らせていただきました。主な1年間の予定ということで、分かっている範囲を入れさせていただいております。また御確認をいただければありがたいと思います。

あともう一点ですが、岐阜県市町村教育委員会連合会ホームページ「教育委員徒然日記」公開のお知らせというのをお配りさせていただいております。これは昨年説明をさせていただきましたが、岐阜県市町村教育委員会連合会がホームページをつくり、各教育委員さんに手記を書いていただくというものになります。今回、第1回目ができたということで添付させていただいております。また、ホームページのほうをこれから見ていただければということでお願いいたします。可児市については、来年の4月掲載というふうで、また正式に依頼が来ると思いますが、よろしくお願いいたします。以上です。

○ 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。

○ 学校教育課長（今井竜生君） よろしく申し上げます。

3月の動きについて説明をします。

3月3日に臨時教育委員会会議を開かせていただいて、人事内申書を見ていただいて、その後、学校への内示を進めました。

3月8日、3月24日、中学校・小学校の卒業式、予定どおり実施できました。教育委員の皆様にも出席していただいて、例年よりも人数の制限であったりとか、活動の制限をした中で実施ができました。学級活動に参加できない保護者への対応も、それぞれの工夫をしてやったことは先ほどのお話の中にもありました。

それから25日、先週金曜日ですけれども、小・中学校の修了式ということで、今は小・中学校春休みに入っております。

新型コロナウイルス感染症については、先ほどからも話がありますが、3月7日より対応方針が変わって、学級で陽性者が出ても、1人だけのときには学級閉鎖をしないということになっております。ただ、同じ学級で複数の感染が判明したときには、学級閉鎖、PCR検査を実施するという流れになっています。3月22日以降は、まん延防止措置が期間終了となりましたので、その対応は少し変わってきておりますけれども、感染対策については学校には継続していただいて、また4月からも、例えば健康チェックで

あったりとか、そういうところは続けていただきたいなと考えています。傾向としては、小学校の低学年での感染が目立っていて、どうもワクチン接種の状況とか、幼稚園・保育園など小さい子の感染があるのかもしれませんが、そこからの広がりが見られているというのが現状です。春休み、どうしても動きが出てくるので、そこでまたはやらなければいいなあと考えています。

新年度は、4月7日木曜日が入学式・始業式で前期が始まります。可児市の学校は前・後期制ですので、後期の始まりが10月11日火曜日と予定しております。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育研究所主任指導主事（千葉智治君）** お願いします。

初めに、資料の訂正をお願いします。1枚だけの教育研究所よりという資料です。

表側に3月・4月の予定が書いてあります。下3分の1ぐらいのところから実は4月の予定なんです、ごめんなさい、月が3月というふうになっています。下のほうは4月になるので、訂正をお願いします。

裏側をお願いします。

2ページになりますが、4月1日に令和4年度新規採用教職員研修会、以前の新採激励会と言われていたものですが、総合会館の5階の大ホールで行います。案内のほうは既にお手元にあるかと思いますが、教育長、それから教育委員さん方に御参加いただきたいと思います。よろしくお願いします。

2点目は、資料にはありませんが、先ほど教育長からも少しお話がありましたが、幼保小の架け橋プログラムという指定が県のほうから参りました。可児市で1つの小学校区で取り組んでもらいたいということでした。今回は、令和4年度から令和6年度の3年間をかけて、幼保小連携について改めて研究をしてくださいというものです。市内においては、東明小学校区で瀬田幼稚園、久々利保育園、それからトキワ幼稚園とひろみ保育園という私立の園のほうにも協力をいただくことができまして、東明小学校区で進めていきたいと思っています。まだ具体化するのはいずれなんです、3年間の指定になります。御指導をお願いします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 今の幼保小連携の架け橋プログラムにつきましては、年度末に、突然県から何とか可児市に受けてほしいという依頼だったんです。それを私としては大変前向きに捉えて、ぜひ受けたいと思いますというスタンスで受けました。

プログラムの趣旨は、簡単に言えば、幼保小の先生方がこんなことを日頃やっているんだよ、こんな願いでこんな保育をしているんだよ、保育指導をしているんだよということを学校に分かっていただく。学校は、学校ではこんな笑顔のもとを育みたいと思っているので、どうか幼稚園・保育園ではこんなことをやってもらえるとありがたいよというようなことを、よりシャープにお願いしていくといったことが趣旨かなあと考えて、双方が考えていること、取り組んでいることを共有しながら、よりよいものを見つけていくということが趣旨かなあと考えておりますので、今の可児市がこれからやろうとしていることとぴったりだなあと考えておりますので、この辺については進捗の状況、教育研究所から話をさせていただこうかと思っておりますので、御承知おきください。

給食センターは所管事項報告あります。

○ **教育総務課長（石原雅行君）** 今日、都合で欠席ということで、特になしというこ

とでお願いします。

- 教育長（堀部好彦君） なしということによろしいですか。
- 教育総務課長（石原雅行君） はい。

報告事項

- 教育長（堀部好彦君） では、報告事項ということで、令和4年度のキッズクラブ入室申請状況につきまして、こども課長お願いします。
- こども課長（梅田浩二君） おはようございます。

それでは、令和4年度のキッズクラブ入室申請状況等につきまして、事前に配付させていただいております資料別紙3、及び本日机上に配付させていただきました別紙3-2に基づき説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

初めに、別紙3を御覧いただきたいと思います。

まず1. キッズクラブ申請児童数の推移について、グラフに基づき説明をいたします。

グラフ中段の少し長めの点線が、年間を通じてキッズクラブを利用される通年の申請状況となります。前年度と比べ80人増の1,038人で行いました。

グラフ最下段の短めの点線が、夏季休業など学校の長期休業時にのみ利用される長期の申請状況となります。前年度と比べ12人増の301人で行いました。

グラフ最上段の実線が、ただいま説明しました通年と長期の合計の申請状況となります。前年度と比べ92人増の1,339人となりました。このグラフからも分かるように、前年度の減少から一転して、通年・長期とも申請数が増えております。これは、新型コロナウイルス感染症に対する不安から、前年度は利用を控えられた方が一定数いたのではないかと考えております。

次に、2のキッズクラブの入室調整の状況について説明いたします。

まず入室調整の前提条件として、学校の終業が早く家で留守番が難しい低学年は、利用の必要性が高いということから、新4年生までの申込みを先行して行い、通年から長期への振替も含めた入室調整を行った上、優先的に受入れを行いました。通年では、兼山小学校の4年生5人を除き、4年生以下の待機児童は発生しておりません。ちなみに、1年生から4年生の入室予定者は、前年度と比べ26人増えておる状況でございます。その後、5・6年生の申請を受け付け、入室調整を行った結果、令和4年2月1日現在、少し古い数字になりますけれども、待機者数は、表にございますように、通年で17人、長期で35人の合計52人となりました。

なお、待機者数の括弧書きの数字は、兼山小学校の待機者を除いた人数となります。これは、一番最下段にございますが、3のキッズクラブの主な施設整備と受入れの2つ目に記載があるとおり、兼山小学校については、定員20人に対し、1年生10人を含む29人と例年にない多くの入室申請がございました。4年生5人を含む10人の待機児童が発生するおそれがございました。このため、教育委員会事務局と学校と調整した結果、ランチルーム棟内の現在倉庫として利用されておりました1室をお借りし、本年4月1日から第2キッズクラブとして利用することといたしました。これにより、兼山小学校の待機児童は解消される見込みでございます。

兼山小学校を除いた待機の状況は、通年が今渡南小学校、帷子小学校、春里小学校の

5・6年生9人と、長期が今の通年と同じ学校の4年生から6年生の33人の計42人となります。例年、通年・長期とも月が進むごとに待機が減少してまいります。また、長期につきましては、今後の待機状況によりますが、夏季休業中は臨時キッズクラブを開設して対応する予定でございます。

次に、3の主な施設整備の1つ目でございます今渡北小第2キッズクラブの新設につきましては、本日机上に配付させていただきました資料3-2に基づき説明をさせていただきます。

今渡北小キッズクラブにつきましては、現在定員110名の専用教室（第1キッズクラブ）に加えまして、校舎内がございます特別教室を利用し、運営している状況でございます。

このような状況の中、委員の皆様は既に御承知のとおりでございますが、昨年3月の法律改正によりまして、小学校全学年の学級編制を1学級35人に段階的に引き下げている状況でございます。今渡北小学校におきましては、令和5年度にはクラス数の増加により普通教室が不足すると見込まれており、キッズクラブが現在利用している特別教室も普通教室に転用せざるを得ない状況となっております。

このため、市では、教育委員会事務局とも協議をしながら検討しました結果、第2キッズクラブを新設することといたしました。第2キッズクラブにつきましては、下図にありますように、既存の第1キッズクラブの西隣に設置を予定しているところでございます。施設規模としましては、平家建ての200平方メートル余りを予定しておりまして、1室40名定員の専用教室2室のほか、建物内にトイレ・手洗い場等を併設する予定でございます。

工期等の詳細につきましては、現段階では未定でございますが、教育委員会事務局が予定しております学校施設の工事完了後になる見込みであり、令和4年度中の完成を予定しております。工事に当たりましては、学校との連携はもとより、地元の自治組織、小学校のPTA、スポーツ少年団等にも情報提供を行いつつ、学校教育や子供たちの活動への影響を最小限にとどめるよう努めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
ただいまの御説明につきまして、御質問、御意見等ございますでしょうか。
第2キッズクラブの新設で、使用はいつから。
- **こども課長（梅田浩二君）** 使用開始は、令和5年度4月からということで。
- **教育長（堀部好彦君）** 開始は令和5年度、1年後ということですね。
- **こども課長（梅田浩二君）** 1年後ということで予定しております。
- **教育長（堀部好彦君）** 指導員というか、面倒見てくださる方も当然増やしていくわけですね。
- **こども課長（梅田浩二君）** 実際、今現状は2室学校の部屋をお借りしながら通年利用させていただきますので、当然指導員はこちらへ回ってまいります。その中で人数が足りるかどうか等については、また検討しながら進めてまいります。
- **教育長（堀部好彦君）** 採用は、普通に困ったことはないですか。
- **こども課長（梅田浩二君）** やはり採用はなかなか、いつも常時年間通じて採用を

かけておりますが、ぼちぼちあるんですけれども、やはり中心は退職された方とか、御高齢の方が中心にはなってますので、その方たちのやっぱり体力的な問題とか、子供たちが走り回るということはないですけど、そういうのについていけなかったりとか、そういうようなこともございますので。

- 教育長（堀部好彦君） いや、走り回っていると思いますけど。
- こども課長（梅田浩二君） 教室内ではそういうことはないんですけれども、やっぱり外遊びなんかで、そういったことで体力的に難しかったり、いろいろそういった問題も抱えておりますので、若い方がたくさんみえるとありがたいなあとは思っておりますが、なかなか難しいところです。
- 教育長（堀部好彦君） コロナ感染防止対策についても、本当にこれはまた大変ではないかなあということを思っているんですけど、よくやってくださっているなあと本当に感謝申し上げます。
ほか、よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

それでは、御説明ありがとうございました。

- こども課長（梅田浩二君） ありがとうございました。
- 教育長（堀部好彦君） お世話になります。よろしくお願いします。
- こども課長（梅田浩二君） よろしく申し上げます。失礼いたします。

（こども課長退席）

委員からの提案協議事項

- 教育長（堀部好彦君） では、続きまして、教育委員からの提案協議事項について議題といたします。
何かございますでしょうか。提案等はよろしいですか。

〔挙手する者なし〕

その他

- 教育長（堀部好彦君） では、次にその他の次回の日程等について。
- 教育総務課長（石原雅行君） 先月決めていただきました4月18日月曜日午前9時から、市役所4階第3会議室でお願いいたします。
続いて5月の定例会ですが、5月23日月曜日はいかがでしょう。
丹羽委員、難しいですか。
- 教育委員（丹羽千明君） いや、開催となれば行きますけど、できれば違う日がいいなあ。でも、いいですよ。簡単じゃないですので、いいです。
- 教育総務課長（石原雅行君） 大丈夫でしょうか。
- 教育委員（丹羽千明君） はい。
- 教育総務課長（石原雅行君） それでは、5月23日ということでよろしく願いいたします。
- 教育長（堀部好彦君） では、5月23日ということでお願いをしたいと思います。
では、ここで休憩とさせていただきます。あの時計で10時15分からということで再開

させていただきます。よろしくお願いします。

休憩 午前10時01分

再開 午前10時15分

○ 教育長（堀部好彦君） では、休憩前に引き続きまして会議を再開します。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

○ 教育長（堀部好彦君） 以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。お疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 午前11時05分